

# 児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名: サニーフレンズ平島

公表 2024年3月19日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容に応じて1階・2階のスペース分けて活用している。クールダウンのスペースもある。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準以上の配置をしている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			利用児の特性に合わせ、視覚的な視点で環境を整え、出来ることを増やしていける様工夫している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			安全な敷地内で、室外で安心して体を動かせる環境を整えている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員会議と都度ミーティングを行っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者等のご意向は所内で共有し改善につなげている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公表する。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内外の研修に参加し資質向上に努めている。	
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			保護者様のご意向も含めて支援計画に反映している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月で予定を立て毎朝礼時にチームにて確認している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			興味関心を広げていく工夫を引き続き。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼を毎日行い、注意点やプログラムについて確認している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼を毎日行い、振り返り気持ちを職員間で共有している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援経過記録への記載とともに検討・改善に繋げる会議を随時行っている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関 や保護者 との連携 関係機関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管とともに直接支援を行うスタッフも同行している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			対象者なし	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			対象者なし	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者の同意を得た場合は極力情報共有に努めている。	

や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者の同意を得た場合は極力情報共有に努めている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			業務に支障がない範囲でなるべく研修に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			子ども支援部会・強化教育事業になるべく参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時・連絡帳・電話・SNS・面談で情報共有を図っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			気軽に相談して欲しい。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時丁寧な説明を心掛けている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			計画・説明・同意は必ず行っている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があれば助言・支援を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		必要性を考えながら対応を決めていきます。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			迅速な対応を行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			LINEを活用し活動内容を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報の厳重に管理している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			意思の疎通ができやすい環境を整えている。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			年に2回のお祭りや、ハロウィンイベント等に案内をお配りしている。		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○				
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2月実施し、消防署に届出している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			面談の際に必ず確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			保護者様より頂いた情報をふまえてスタッフに周知し、常に表示している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			共有・閲覧できるようにしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し研修・対応を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			現在身体拘束を必要とする児童はいないが研修を行い知識の向上に努めている。	